

トピックス

NSTチーム医療における薬剤師の役割

NST (Nutrition Support Team : 栄養サポートチーム)をご存じですか？

近年、病気を治すためには、栄養が重要であることが指摘されています。それは、栄養状態が悪いと、病気の改善が遅くなるばかりか、さまざまな合併症により重篤化するかが分かってきたためです。

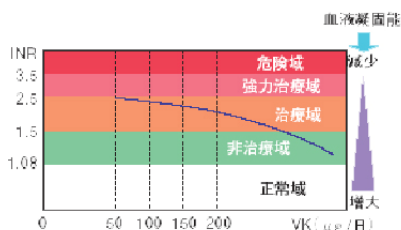
NST では、患者さんの状態に合わせた栄養療法を行うために、医師、看護師、薬剤師、栄養士、臨床検査技師、理学療法士などの他職種が集結し、専門的な知識、情報を提供し、栄養管理への支援に努めています。

チームの中での薬剤師は、薬学的観点に基づき、病態評価を行い経腸・静脈栄養療法の適正使用を推進しています。

～ワルファリンカリウムと経腸栄養剤～

ビタミン K (V.K) は、ワルファリンカリウム (以下ワルファリン) の抗凝固作用を減弱させることが知られています。薬剤師としては、V.K 含有量の多い食品のみを注意・指導するのではなく、経腸栄養剤や高カロリー輸液、総合ビタミン剤など総合的な栄養管理の観点から介入しています。

ワルファリンの効果に影響を与えるビタミン K 摂取量は？



日本人の1日のV.Kの所要量は、成人男性 75μg、成人女性 65μg 程度(日本人の食事摂取基準: 2010年版より)です。

図 1. INR 値とビタミン K 摂取量
Nutrition Support Journal 2004 年第 5 巻第 2 号より

1日 50 ~ 200μg 程度のV.K を毎日摂取していても INR 値 (international normalized ratio) がワルファリン治療域から外れる可能性は少ないとされていますが、250μg 以上の V.K を毎日摂取すると治療域から外れる可能性が高くなります。

表 1. 経腸栄養剤 V. K 含有量 (院内採用薬)

区分	成分栄養剤	半消化態栄養剤	
商品名	エレンタール® 配合内用剤	ラコール® NF 配合経腸用剤	エンシュア・ リキッド®
包装形態 (kcal)	80g / 包 (300kcal)	200mL / 袋 (200kcal)	250mL / 缶 (250kcal)
製剤画像			
V.K (μg/100kcal)	3	6.25	7

9月1日より、従来の「ラコール®配合経腸用液」に代わり「ラコール® NF 配合経腸用液」が採用になりました。従来品は他の経腸栄養剤と比較してフィトナジオン (V.K 1) 含有量率が高く、ワルファリンを併用されている患者さんに用いた場合、ワルファリンの作用が減弱するリスクがありました。そのリスクを回避するため、フィトナジオン (V.K 1) 含有量を従来品の約 1/10 量へ減量した「ラコール® NF 配合経腸用液」が販売となりました。

ワルファリン服用中の患者さんや開始予定の患者さんに、経腸栄養剤を開始する、あるいは変更するに際しては、ワルファリンの効果に差異が生じる可能性があります。そのため、NST として情報を共有するとともに、担当医や患者さんに情報をフィードバックする必要もあります。

このように、薬剤師の専門性を生かしながら、個々の患者さんに対しての栄養管理支援への支援を行っていきたく考えています。

＜参考文献＞ ワルファリン適正使用情報 第3版

Staff Interview

薬剤師 清川 真美



調剤業務や病棟 (神経科、婦人科) における臨床業務を担当しています。また、医療チームのひとつであるNSTチームにも参加して活動しています。患者さんに最も適した、安全で効果的な薬物療法ができるよう、服薬指導やチーム医療を通し、患者さんや他職種の方々の身近なところで、薬剤師として治療の支えになりたいと考えています。